

南台湾イノベーションと起業サービスプラットフォーム始動

9月9日に「南台湾イノベーションと起業サービスプラットフォーム」オープニングセレモニーが行なわれました。政府のあらゆる関連部署や地方自治体起業資源や研究機構設備や園区企業資源が連携し、起業するため必要な技術、資金、業師、機械設備、小量試製生産などを提供します。このサービスプラットフォームは南科を南台湾最強のイノベーションと起業指導資源プラットフォームになります。



▲ 「南台湾イノベーションと起業サービスプラットフォーム」始動式で250人来賓が参加(2015.09.09)

アメリカへ訪問

9月30日に前副局長、林永壽が率いる訪問団は南カリフォルニア大学とカリフォルニア大学ロサンゼルス校の育成センター、Innobridge Capital Management、SVT Angelsなどのベンチャー企業やチームと交流しました。またアメリカでは有名なDIY工房テックショップも視察しました。



▲ ベンチャー企業BezelelのCEO吳哲明さん(右三)、AIO Robotics会社のCEO Jens Windauさん(左三)(2015.09.30)

創新創業 再び好成績達成

南科では科技部の「創新創業激励計画」(FITI)に基づき、園区内外の資源を生かして起業の場や指導・育成サービスを提供しています。南部では重要なイノベーションと起業指導サービスプラットフォームになります。2015年末までに起業工房73組が入居し、28組が会社設立を果たし、6組は南科の育成センターに入居し、5組は園区の科学工業会社になり、10組はFITI計画から200万元起業資金を獲得しました。

起業のゴールドラッシュはもう始まりました

12月30日に「起業チーム成果発表及びSVT Angels仲介会」を行い、南台湾トップ13組チームが成果を発表しました。30社以上からの投資やSVT Angelsが注目されました。南科は南部で重要なイノベーションと起業の場所というイメージが形成されており、故郷帰りの起業者の新天国楽園になります。



▲ 来賓と起業者チームの記念写真(2015.12.30)